

授業科目名 (英文名)	Writing 1 英語W 1 (K 5)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	糟屋 美千子	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	1) 日常的な社会活動において必要となる英語文を書くことができる 2) 基礎的な英文を書くために語彙や文法を習得している 3) 基礎的な英文の文章構成法を理解している		
講義内容・授業計画	メールや手紙などの形式に慣れ、センテンスを正確に書く実践練習を行い、適切な語彙を身につけ、英文を書くスキルを向上させる。与えられた課題を着実にこなすことが求められる。 1. ガイダンス (授業の概要、目的、目標) 2. 利点と欠点を述べる (語彙・表現) 3. 利点と欠点を述べる (全体の構成) 4. 問題と解決を述べる (語彙・表現) 5. 問題と解決を述べる (全体の構成) 6. 分類を述べる (語彙・表現) 7. 分類を述べる (全体の構成) 8. 原因と結果を述べる (語彙・表現) 9. 原因と結果を述べる (全体の構成) 10. 目的を述べる (語彙・表現) 11. 目的を述べる (全体の構成) 12. 理由を述べる (語彙・表現) 13. 理由を述べる (全体の構成) 14. 語彙・表現のまとめ 15. 全体の構成のまとめ		
テキスト	「Point by Point: Writing Effective Opinion Essays」 (南雲堂)		
参考文献			
成績評価の基準・方法	日常的な社会活動において必要となる英語文を書くことが出来るものに単位を授与する。講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、S から C まで成績を与える。レポート・小テストなどによる平常点40%、試験60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		
実践的教育	該当しない		
備考	本授業には、学生が授業中に英語を用いた活動に取り組むアクティブ・ラーニングが含まれる		